

教師用発問サポート資料

1 使用するプリント コク×スク レベル 1-4 適切な根拠のもとに、意見を述べる

2 単元の目標

- (1) 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2) ア
(2) 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) ア

3 学習の流れ

【①導入】 グラフ問題の特性について考える。



グラフや図表は何のために載っているのでしょうか？ その利点が何かを理解できると、グラフの読み解きが楽になります。次の問題を解きながら、考えてみましょう。

【②展開1】 個人でグラフからわかる情報を考え、その後、考えを共有する。

個人で考える (10分程度)。その後、全員でわかったことを共有する (5分程度)。

★5分ほどが経過したら、立ち歩いて話し合ったり、わからない部分を話し合ったりするよう助言する。

★考え方がわからない生徒には挙手をさせ、適宜助言を行う。

〈助言の参考〉



このグラフや図表は何を伝えたくて載せられたものだと思いますか。

みそ汁についてです。

みそ汁の位置についてです。



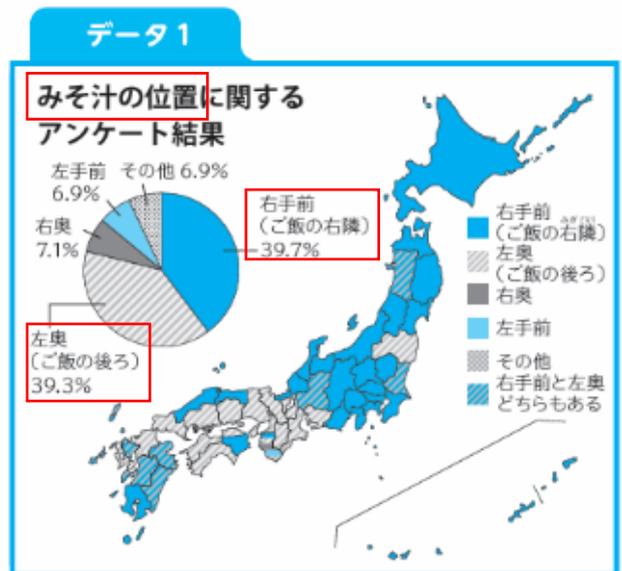
そうですね。では、問題を解きながら自分が発見した情報に印をつけたり、箇条書きで書いたりしてメモしておきましょう。

【②展開2】 全員での共有を終えた後で「ある情報サイトの記事」を読み、問いに答える。

〈問1の助言の参考〉

まず、データ1の図表に着目してみてください。グラフや図には、見たらすぐに伝えたいことがわかるという利点があります。データ1があることで、地域によってみそ汁の置く位置が違うことが視覚的にわかりやすくなりますね。

また、図表やグラフを見るときは数値が大きいところに注目しましょう。この部分が重要な情報であると考えられます。



教師用発問サポート資料

〈問2の助言の参考〉



Aの内容を推測するためには、Aの前後の内容を確認することが大切です。
Aの前には「大阪のみその消費量」、後には「関西でみそ汁を置く位置が奥になったことについてのまとめ」が書かれていますね。これらの情報をもとに「データ2」を参考に
して問題を解いてみましょう。

〈問2を解いた後の助言〉



問2で捉えた大阪のみその消費量の具体的な数値が、この後の「関西ではみそ汁を奥に置くようになった」の根拠になりますね。

〈問3の助言の参考〉



配膳の位置については、記事の前半に、まとめは記事の後半に書かれています。

【③まとめ】今日学習した内容を振り返る。



今日の学習では、情報と情報を結び付ける方法を学びました。これによってどのような利点があると思いましたか。また、どんな力が身につきましたか。

情報と情報を結び付け、根拠を複数挙げたほうが、説得力があると思いま

文章に根拠となるグラフや表がつくと説得力が増すとわかりました。



情報を結び付けながら読むことで、新たな視点や解決方法が見つかりますね。また、自分で文章を書いたり、発表したりするときは複数の関連情報を提示することでより相手が理解しやすい内容にすることができます。

4 指導のポイント

- 【①導入】で、グラフを読み解くときの方法をあらかじめ教えてから考えさせてもよい。

5 ほかに考えられる使用方法

- 今回の問題を解かせた後に、教科書の説明文(グラフや図表が載っている教材)のグラフや図表を見せ、その特徴を見つける活動を行うのもよい。

グラフと図表から分かる情報のみで、作者の伝えたいことを推測する

まずは文章内容を読まずに、提示されているグラフや図表からわかる情報を引き出し、筆者が何を伝えようとしているのか、個人、全体で推測したり話し合ったりした上で、本文の内容を読む。そこから文章と図表の関連性や文章の構成について考えさせる単元。